

## 「ほめられて育った7割」「5年後の働くイメージがない3割」 “就活自殺150人”の現状を変えるため、就活意識調査を実施

～ 若者が活躍できる社会を目指し、ほめる職場環境の整備と若い世代のほめ達を育成 ～

一般社団法人日本ほめる達人協会（事務所：大阪市西区、理事長：西村 貴好）は、就職活動が原因で自殺する若者が年間150人にのぼる現状を変えるため、当社のインターン学生が中心となり、これから就職活動を行う学生610人、就職活動を終えたOB243人に就職活動の実態、意識調査※を実施しました。調査によると、「ほめられて育った若者が7割」「就職活動の中で給与よりも働きがいに価値を見出していく」「就職活動の前後とも5年後に働くイメージを持っていない学生が3割にのぼる」など、企業が求める、若者の接し方のヒントが見つかりました。※（実施期間9月26日～1月21日、調査結果概要、回答者の属性は参考資料参照）

理事長の西村は、身近な人の自殺をきっかけに「ほめる＝相手の価値を見つけて伝える」ことができる人を増やすことで、自殺や鬱がまん延する状態を終わらせようと、2007年より「ほめ達（ほめる達人）」の育成に取り組んでいます。

自殺は特に若年層で深刻な問題になっており、15歳～39歳の死因の1位は自殺で、学生の自殺は年間1000人を超えています。就職環境が厳しさを増すにつれ「就活自殺」は2007年には60人、2009年130人、2011年には150人と年々増え続けています。（警察庁の自殺統計より）



就活セミナーを企画、運営した  
インターン生と学生スタッフ

そうした状況を変えるため、8月よりインターン生7人を受け入れて「ほめ達ネクストジェネレーションプロジェクト」をスタート、その一環として「就職活動の実態、意識調査」を実施しました。この調査を参考に、ほめるという承認型コミュニケーションで若者のモチベーションを上げる環境を企業に作るのと同時に、相手の価値を認めることで就職活動や新入社員時代に壁にぶつかった若者の悩みを解決する若い世代のほめ達（ほめる達人）を増やす活動を続けていくことで、若者がイキイキと活躍できる社会の実現を目指します。

「就職活動の実態、意識調査」の特徴的な結果 ※詳しい調査結果は参考資料参照

- ・「ほめられて育った」71%（共通調査）
- ・「ほめられて伸びるタイプと自覚している」80%（共通調査）
- ・「将来の内定先で5年後も働いているイメージがない」31%（就職活動前の学生）
- ・「今の会社で5年後も働いているイメージがない」32%（就職活動後の学生・就職後の社会人）
- ・「企業を選んだ基準」は、就職活動前には給与が18%、働きがいが18%。就職活動後は、給与が4%、働きがいが31%。

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

一般社団法人日本ほめる達人協会 広報担当 中嶋恵里（なかしま えり）

〒550-0014 大阪市西区北堀江3-11-9

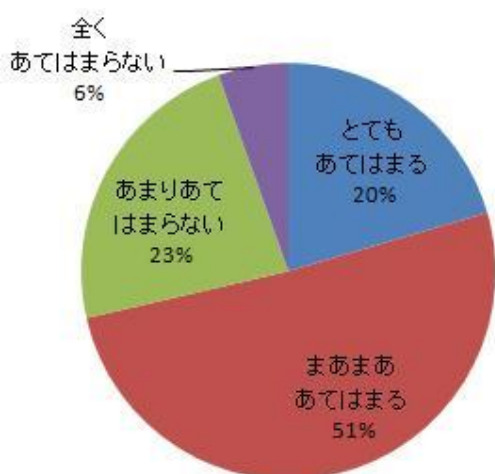
ホームページ <http://www.hometatsu.jp/>

TEL：06-6539-1950 FAX：06-6948-8558

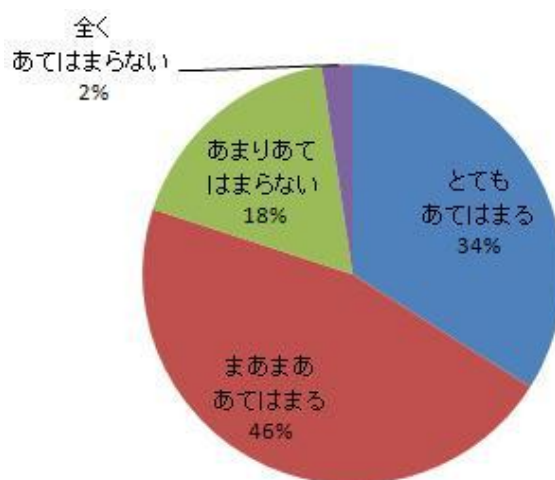
参考資料

■調査結果概要

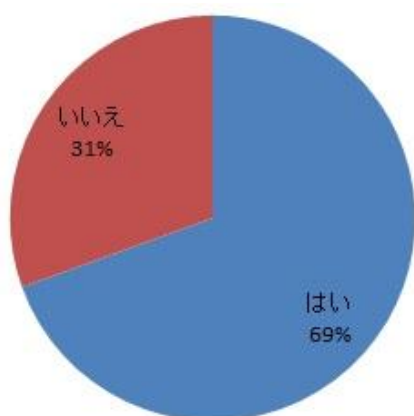
ほめられて育ちましたか  
(共通調査)



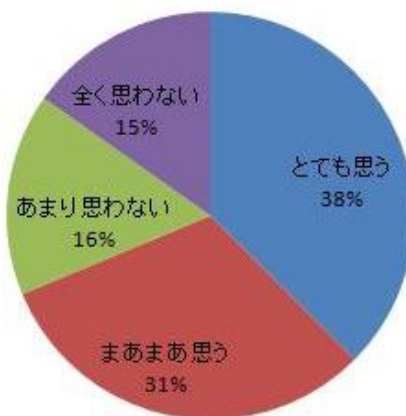
ほめられて伸びるタイプですか  
(共通調査)



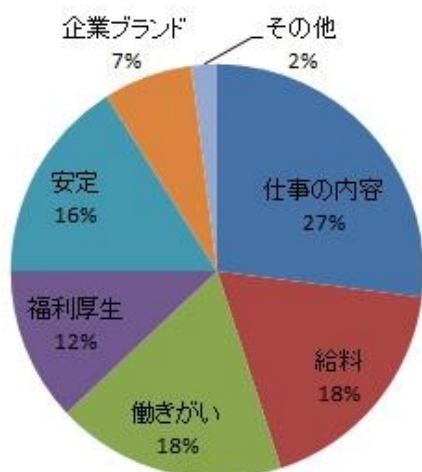
内定先で5年後も働いているイメージはありますか  
(就職活動前の学生)



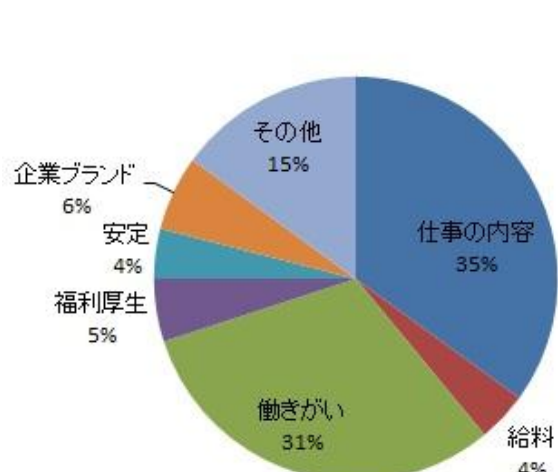
今の会社で5年後も働いているイメージはありますか  
(就職活動後の学生・就職後の社会人)



何を軸に企業を選んでいきますか  
(就職活動前の学生)



何を軸に企業を選んでいましたか  
(就職活動後の学生・就職後の社会人)



## ■調査概要

これから就職活動を行う学生 610 人（男 277 人、女 333 人／1 回生 215 人、2 回生 124 人、3 回生 271 人）、  
就職活動を終えたOB 243 人（男 124 人、女 119 人／4 回 1 生 76 人、社会人 1 年目 33 人、社会人 2 年目 69 人、それ以降 65 人）

## ■日本ほめる達人協会概要

法人名	一般社団法人日本ほめる達人協会
設立	2011 年 10 月 6 日
理事	理事長：西村貴好 理事：嶋原弘子（ファッションプロデューサー 日本ベストドレッサー賞選考委員） 江上治（経営コンサルタント） 著書『一生かかっても知り得ない年収 1 億円人生計画』『一生かかっても知り得ない年収 1 億円思考』 香川晋平（公認会計士） 著書『東大卒でも赤字社員 中卒でも黒字社員 - 会社が捨てるのは、利益を出せない人』『「できるつもり」が会社を潰す - 「絶対黒字感覚」のある人、ない人』『もっと仕事は数字で考えなきゃ！ 黒字社員の言葉、赤字社員の発想』 顧問：太田肇（経営学者、同志社大学政策学部教授） 著書『承認とモチベーション』『「見かけの勤勉」の正体』 『「不良」社員が会社を伸ばす』
事務所所在地	〒550-0014 大阪市西区北堀江 3-11-9
連絡先	TEL. 06-6539-1950 FAX. 06-6948-8558
活動内容	1. 「ほめる」に関する調査及び研究 2. 「ほめる」に関する普及啓発 3. 「ほめ達」に関する検定事業（ほめる達人検定） 4. 「ほめる」に関する教育・講義・セミナー・出版事業 5. その他当法人の目的を達成するために必要な事業

## ■理事長 西村貴好プロフィール

「泣く子もほめる！」ほめる達人。大学卒業後、家業のホテル運営で人材定着不足に悩む。その中で「ほめて伝える」効果に気づき、たった一年で人材募集費を年間 120 万から 0 円にする。2005 年ほめる調査会社「C's」創業。ほめる仕組みで組織を活性化。橋下知事が大阪府の調査を 2 年連続で依頼。

その様子をNHKが「クローズアップ現代」で全国放送。採用企業の業績は平均 120%に。3 ヶ月で売上を 161%に伸ばす企業も。2010 年から「ほめ達！」検定をスタートさせ、講演・セミナーは時間があつという間！と評判。2012 年の講演・セミナー回数は 247 回、2 万 682 人が参加した。（2011 年は 125 回、6653 人）

「クローズアップ現代」「深イイ話」など TV 出演も多数。著書「繁盛店のほめる仕組み」は経営者だけでなく親・教師の間にも口コミで広がり、現在 10 刷、増刷中。5 月 24 日には「ほめる生き方」、7 月 25 日には『心をはひらく「ほめグセ」の魔法』が発刊。



「ほめる」は、一昨年のおおさか府の府民スローガンにも使われた